

本栖湖西岸園地(中ノ倉峠展望地)施設概要

【別添1】

■施設設置背景

平成25年6月、富士山が世界文化遺産に登録されたことを機に、環境省では、遺産地域の大部分を占める富士箱根伊豆国立公園の保護管理の充実と質の高い利用を図っていくこととし、その具体策の一部として、富士山を眺望するのに適した山麓等での展望施設整備を進めています。

中ノ倉峠は富士箱根伊豆国立公園(富士山地域)に位置し、富士山、本栖湖、そして湖畔の自然からなる優れた景観を誇る景勝地であり、展望施設及び展望地周辺、展望地に繋がる登山道入口に案内標識などの標識類を整備したものです。

■施設位置図

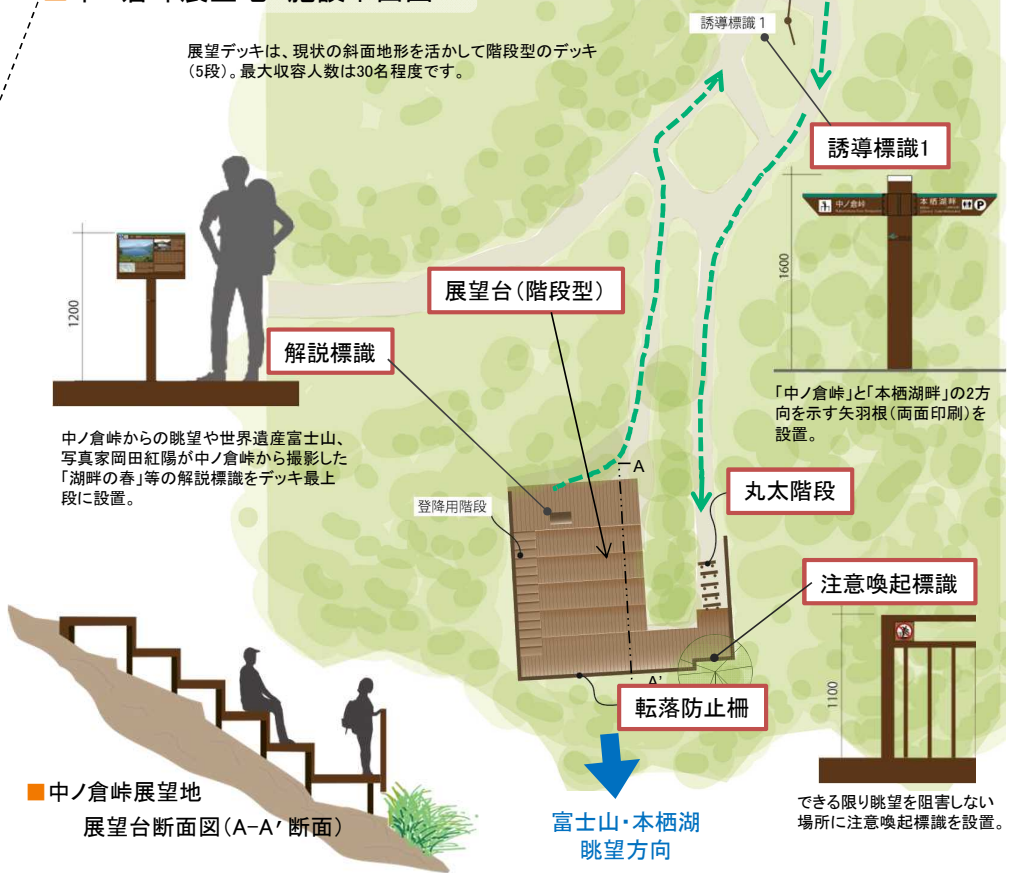
中ノ倉峠(山梨県南巨摩郡身延町)は、本栖湖西岸の山麓に位置します。そのため、本栖湖面に映る美しい「逆さ富士」を臨むことができ、中ノ倉峠から写真家の岡田紅陽が撮影した「湖畔の春」は、日本の紙幣の図様(旧五千円札、現千円札)として採用されました。



■登山道入口 施設平面図



■中ノ倉峠展望地 施設平面図



■施設内容

整備施設	主な材質	数量
展望台(階段型) ※転落防止柵一体型	デッキ材:木材 構造材:アルミ	1箇所
解説標識	支柱:木材 表示面:アルミ複合板	1箇所
注意喚起標識	支柱:木材 表示面:アルミ複合板	1箇所
誘導標識1(展望地)	支柱:木材 表示面:アルミ複合板	1箇所
誘導標識2(登山道入口)	支柱:木材 表示面:アルミ複合板	1箇所
案内標識(登山道入口)	支柱:木材 表示面:アルミ複合板	1箇所
丸木階段	木材	1箇所



中ノ倉展望地整備完成イメージ

■中ノ倉峠展望地
展望台断面図(A-A'断面)

富士山・本栖湖
眺望方向

できる限り眺望を阻害しない
場所に注意喚起標識を設置。